

## 河野地区タウンミーティング(要約)

平成26年10月25日(土曜日)

【市長】 皆さんおはようございます。今日は土曜日の午前中でありまして、何かと皆さん用事があった方も多いのではないかと思いますが、これだけ多くの方にご参加をいただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、河野公民館の館長さんをはじめ役員の皆さまのご協力をいただきました。本当にありがとうございます。さて、このタウンミーティングですけれども、私が市長に就任をさせていただいて始めさせていただきました。どちらが楽かという話をすれば市役所で待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいんでしょうか。我々から出向いていきましようよというタウンミーティングです。松山市は、旧松山市・旧北条市・旧中島町を合わせて41地区に分かれます。その地区ごとのお困りごとや課題を聞かせていただいて、できることからできるだけ早く解決をしていく。また、魅力を教えていただいて、魅力を伸ばすまちづくりを各地区でできれば、その41の集合体である松山市はなお輝くと思ひまして、タウンミーティングを重ねてまいりました。市長の任期は1期4年の48カ月ですので、41地区を1カ月に1回のペースで回らせていただこうと当初は考えておりましたが、おかげさまで好評になりまして、前倒しで進めようということで1巡目は2年2カ月で回りきることができました。そして今2巡目に入っております。パフォーマンスやガス抜きのためにやっていたのだったら、1巡で終わったかもしれませんが、市役所は3つの文字ですけれども、市民の皆さまの役に立つ所で市役所でなければいけないと思っておりますので、1巡だけではなく2巡目に入らせていただきました。今回の河野地区のタウンミーティングで、2巡目かつ2回目の全41地区を全部回りきることにあります。この松山のタウンミーティングの特徴は、聞きっぱなし、やりっぱなしにしないという特徴がございます。皆さんが言われることはできるだけこの場でお答えをしますけれども、中には国や県と関係をする案件、また財政的な問題があるもの、そういったものはいいかげんな返事をして帰るわけにはいきませんので持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に必ず返事をするという、聞きっぱなし、やりっぱなしにしないのが松山版のタウンミーティングの特徴であります。今日は小学生さん・中学生さんも来られています。90分間という時間帯ですが、長く緊張するとしんどくなってしまいますから、あまり緊張なさらずに、将来の河野に向けて前向きな話ができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 活性化ということをお願いしたいんですけど、愛媛マラソンでは市長も頑張っていて完走されていますが、我々地域の方が応援に行くんですけど、応援する方も多いので盛況に開催されていますが、地域の方で走りたい人がたくさんいるんですね。でも、抽選でもれてしまいます。2万名ぐらいの応募があって、その半分しか走れない現状がありまして、地域枠でもつくってくれたらという声をよく聞くんですけど、応援に行ったら地域の方が走るとまた応援にも熱が入ると思いますし、多く出ることによって地域も活発になってくるのではないかなと思います。そういう地域の方の声を受けて、地域枠という3名でも5名でも10名でも沿道の地域に枠をつくってもらったら、いいじゃないかなということをお願いいたします。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。よろしく申し上げます。ご意見ありがとうございます。まず愛媛マラソンですけど、これはいろいろな企業とか団体が実行委員会をつくって実施しております。大会を重ねるごとに安全で円滑な運営を第一にランナーの皆さんの要望に最大限応えられるように愛媛県警察本部や道路交通事業者に多大なご理解をいただきながらやっておりますけれど、来年2月の開催の第53回から定員を1万人にして実施するようになりました。リニューアル当初はインターネットのエントリーとか先着順で実施しておりました。49回の大会では、定員到達までには数日間あったんですけど、51回では開始後1時間37分で締め切りの状況にあり、不公平感も出ておりました。こうした状況を考えまして前回の52回からインターネットの先着エントリーを郵便振替エントリーとあわせて公平を図る形にいたしました。今までお申込みいただいた方には、これまでの経緯から公平と公正なエントリーを第一に考え、完全抽選に至ったということで、ご理解いただければと思います。こうしたことから、地元枠とか市民枠、愛媛県枠、いろいろな要望がございますが、なかなか難しいのが現状です。今後も実行委員会としてあらゆる可能性を検討すると思いますが、今回こういうご提案があったことを担当部を通して実行委員会にお伝えしたいと思っております。

【市長】 私から愛媛マラソンのことを補足させていただきます。今年の2月の愛媛マラソンに参加させていただいて、5時間11分1秒でなんとか完走することができました。本当は4時間半ぐらいで走りたいと思っただけで、30キロぐらいまでは結構調子がよかったです。1年がかりぐらいで練習しましたので、中村時広知事が4時間半ぐらいで走ると聞いていたので、あわよくば抜いてやろうかななんて思っていたんですけども、やっぱり30キロからが本当のマラソンで、足が止まってしまいました。1回ちょっと途中で歩いてしまったんですね。走っているほうの気持ち

としては、立岩まで行って降りてくる、そのままバイパスに行けたら帰るのみになりますから、気分的にはバイパスに行きたくてたまらないんです。でも、距離が足りないのでバイパスの手前を文化の森まで往復しないといけません。あそこが精神的にもものすごくきついです。河野地区あたりの周辺の方々があそこで応援していただくと、ものすごく励みになりますね。たぶん1万人ランナーが参加したとして、応援がなかったら完走できる人は極端に減ると思います。本当に皆さんの応援のおかげで走れているところが大きいです。全国フルマラソンの中で、この松山の愛媛マラソンが東京マラソンとか大阪マラソンとか、そういう大きなマラソンを抑えて日本一の人気になっているのは何かというと、やっぱりコースのすばらしさと皆さんのおもてなしのすばらしさなんです。ですので、今年度も愛媛マラソンが近づいてきますけれども、また大いに励ましていただけたらと思います。地元の愛媛新聞さんが南海放送さんと一緒に実行委員会の中に入っていってしゃって、事前に名前とナンバーカードが出ていると思いますが、よろしければナンバーカードをつけた選手がせまってくると、全く知らない人でも「〇〇さん、頑張って」と言ってくると、ただ頑張ると言うだけよりも名前呼んでもらうとまた頑張ろうと思うそうですから、よろしければそういう応援をしていただくと、また選手も元気になるのではないかなと思います。おもてなしとか清掃活動にお力をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

【男性】 高齢者から一言。そういう日の当たるスポーツも結構ですがけれども、もっと地道な日の当たらないようなスポーツとか、スポーツに限らず地域に密着した子どもさんの育成を考えていただきたい。前回のご意見ということで対応をご説明いただき、地域の向上支援委員、河野の良いところを云々ということですがけれども、果たしてこれがどれだけ効果を上げているかとなりますと、もっとこの方面に力を注いでほしいと思います。抽象的なことを言いますと、私が普段からよく言うんですけど、日の丸・君が代よりも、もっと自分の地域に根ざした、子どもさんたちがそういう心掛けの意識を持っていただいて、その上での君が代・日の丸であってほしいと思います。もっと具体的なこと言いますと、地域の農業関係で私の身近な先輩方がよく言われた例があるんですけど、百姓では食えんということで、農業に対してあまり子どもさんにタッチされてこなかったということで、子どもさんは立派に農業以外のところで活躍することになっておるんですけども、残された農業は衰退の一途をたどっているような気がします。そういうことも含めて、もっと地元に対して、子どもさんがいろいろ関心を持っていただける、例えば通行途上で小学生の方は必ず小学生

から「こんにちは」とあいさつをくださいますけど、中学生になるとだんだん減ってくる、高校生になるともうほとんどそういう反応はありません。大学生にいたっては、本当にこの地域に大学生の方がおられるんだろかというぐらいあいさつがありません。もっと地元というものを皆さんが意識して育っていただき、そういう地域であってほしいと願います。以上です。

【市民部長】 ご質問ありがとうございます。市民部の片山と申します。地域を大切にというご質問だと思いますが、松山市では平成21年に「松山市地域におけるまちづくり条例」をつくっております。これからのまちづくりは、市民と行政がそれぞれの果たす役割と責任を自覚して協働してやっていこうということを明確にいたしました。その中で「自助・共助・公助」という表現で、市民と行政の役割分担について明記しております。ご質問のところは、特に「共助」についてのことだと思いますが、これは町内会などの地域の力が必要だと思っております。松山市としては、平成16年度から「地域リーダー養成講座」をやりました。そして、平成23年度からは名称変更しまして「地域づくり支援セミナー」というかたちで現在もやっております。この取り組みは愛媛大学の地域創生センターと協働で開催しております。まちづくりの人材育成事業でございます。今年度で10年目を迎えますが、講座の受講生は400名を超えております。その内容は、地域のまちづくりの基礎学習に留まらず、まちづくりの現場に実際に赴いたり、まち歩きをして地域の将来の計画づくりを行うなど、地域の合意形成の過程を重視した、より実践的な内容となっております。特にこれからの地域を担う大学生とか若い世代との意見交流を通して、まちづくりに対して新たな視点を得られる機会でもありますので、こういう機会をぜひ皆さんに理解をしていただければと思います。松山市では「コミュニティ・アドバイザー」という制度を設けておりまして、地域でまちづくりに関する勉強会に対して講師を派遣する制度を設けております。昨年度までは1名だったんですけど、今年度からは4名に増員しております。さまざまなジャンルの先生がいらっしゃるので、ぜひ活用していただいて地域の学習の機会を設けていただければと思います。

【男性】 市でそういうことをいろいろとやっていただいているということですが、河野で実際にどれだけ参加しているかとか、もっと我々側の取り組みに協力があってほしいと思います。

【市長】 松山市では、色んな部門で色んな活動をさせていただいております。例えば、立岩の農業者の方々と松山市の小学生のふれあいをつくる「立岩ダッシュ村」もさせていただいております。そういう農業体験もし

ていただく、さまざまな部門でさまざまな地道な取り組みもさせていただいております。また、個々については後ほどこの終了後にご説明をさせていただいたらと思いますが、地道な活動もさまざまさせていただいておりますので、私どももその活動を知っていただけるように広報に努めていきたいと思っています。

【小学生】 高縄神社のトイレがちょっと入りづらくて、そこを改善してほしいなと思います。

【市長】 高縄寺さんかな、高縄神社さんかな、どっちかな。

【小学生】 高縄神社。

【市長】 高縄神社さん。なるほど神社のほうですね。

【市民部長】 市民部長の片山でございます。ご質問ありがとうございます。まず、基本的には神社さんの持ち物ですので、所有者の方が直すのが基本です。だけど、ちょっとまた担当で見せてもらいます。そしてこういうお話があったと神社さんにお伝えさせていただければと思います。

【市長】 神社さんというと「だんじりみがき」にこの前に来させてもらったんです。「だんじりみがき」いいですね。こうやってお祭りの準備をされるんだなあと思いました。そして、さっき高縄寺さんと高縄神社さんどっちですかと言ったのは、最初の話にもかかわりまして、実は高縄山山頂の高縄寺さんのトイレの改修をしてくださいというお話があります。就任当初から地元の方から伺っているのですが、「高縄山に登って行くんです。トイレが困るんです」という話を聞いて、確かに高縄寺さんのトイレは、古くなっているというのは存じ上げています。山の上にトイレをつくるとなると、給水・排水ですが、流す水をどう持ってくる、排水をどうするというのと、そのトイレをどれぐらいの規模のものをつくる、そういうのをいろいろと検討しないといけないところがある。何にもしないのはいけないことです。高縄山頂に県がつくって北条市が管理していた洋式トイレもあるきれいなトイレがありますので、以前は看板も何も設置されていなかったのですが、歩いて来られる方もいらっしゃいますけど車で上がってくる方が大半なので、車の方にわかるようにここから何分行ったところに大きいトイレがありますからそこを利用してくださいという看板をつけさせていただきました。これで終わりというのではなくて、高縄山頂のトイレはこれからも研究を重ねていきたい。そういう状況にあります。

【小学生】 最近、近所で外に出ている高齢者の人たちが少ないと思うので、高齢者の人たちが運動できる施設があるといいと思います。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。ご質問ありがとうございます。

ざいます。高齢者が外に出て運動ができる施設がほしいというご意見をいただきました。松山市では高齢者の方の色々な対策を講じております。河野地区の高齢者の人口をご説明させていただきますと、河野地区は今、5,894人の方がお住まいです。その内の高齢者の方が1,766名。高齢化率は約30パーセントです。最高齢の方は101歳の女性の方がお住まいです。高齢者の色々な対策の中で高齢者が安心して生活できるための取り組みといたしまして、1人暮らしの高齢者に安否確認とあって、民生児童委員が、概ね65歳以上の方の見守りについて支援を行っています。そして、緊急通報装置を配置しまして高齢者の安否確認、また配食サービスといったものですか、週に2回程度乳酸菌飲料を配布することによって安否確認を行うといった高齢者への配慮を行っています。高齢者の方が、元気でその地域で長くお住まいいただくための対策としましては、今、介護保険法の改正によりまして地域包括ケアシステムネットワークという計画を松山市で練っています。まず介護とか予防とか医療とかそういったものを、地域でお住まいの中で地域包括支援センターなどを活用していただきながら住んでいただくという制度でございます。また、これから色々な制度を広報とか色々な部分で皆さんにお知らせできると思いますので、そういった部分を活用していただいて、地域の公民館活動や高齢クラブとか、ふれあい・いきいきサロンとか、公民館を活用しながら皆さんの有意義な生活を送っていただけたらと思いますので、今後とも松山市が支援していきますのでよろしくをお願いします。

【市長】 おじいちゃん・おばあちゃんは、今の松山、今の愛媛、今の日本を築いてくれた人たちですよ。今、ご飯炊くのはポンとスイッチを押すだけで炊けるでしょ。でも、昔は息を吹きかけながら炊いていたんですよ。洗濯も今は乾燥機があるけど、昔は私も北条の家で覚えているけど、タオルなんか回して絞ったりしていたんですよ。昔の人が絶対苦労しているんですよ。そういう人生の先輩方が、いきいきとずっと過ごせるように松山市はいろいろと考えてやっています。さっき言ったふれあい・いきいきサロンは、公民館とか色々な場所があるんですけども、おじいちゃん・おばあちゃんに集まってもらう。それで例えば手芸をしたり、囲碁が好きですか、将棋が好きですという人がいたら、そういう手芸とか男性やったら囲碁とか将棋をやってもらう。家で閉じこもりきりになるのじゃなくて、集まってきてもらおう。集まってきてもらおうと会話もするし、今度旅行に行こうやとかにもなるので、できるだけ集まっていただいて何か活動をしようということをしています。このふれあい・いきいきサロンは市内300カ所以上にあるのですけれども、女性は参加してくれるんで

すけど、男の人があんまり参加してくれなかったんですよ。どうしたらいいかなと思ったら、前の仕事のとときに会社への行き来で見ていると、市民農園が男の人が結構参加して作業しているんです。それでサロン農園をするようになったら男性の参加率が上がりました。男性の参加者が増えて、農園をすると収穫できる作物ができますよね。作物をみんなで食べようすると、地区の子どもたちも来てくれるようになって、女の人も男の人も地区の子どももというのができるようになったんです。いろいろ知恵と工夫でおじいちゃん・おばあちゃんがいきいきと暮らせるようにこれからもやっていきますので、またよろしくお願いします。ありがとうございました。

【小学生】 柳原駅の学校から帰るときに、大雨が降って水が流れたりして靴とか濡れたりするのですが、どうすればいいと思いますか。

【市長】 どの辺ですか？河野小学校から帰る柳原駅のあたり？みんなうなずいているね。じゃあ河野小学校から柳原駅に向かって行って、バイパスは越えるの？バイパスと駅の間くらいですね。

【都市政策課長】 都市政策課の川口と申します。よろしく申し上げます。ご意見ありがとうございます。実は、先日現場も見に行っただけなんですけれども、天気の良い日に行ったものですから場所がはっきりわからなかったんです。この後、地図持って来ていますので詳しい場所を教えていただいたら排水に関する色んな対策ができますので、また場所を教えていただいたらと思います。よろしく申し上げます。

【市長】 われわれ、この90分間のタウンミーティングですが、90分間で雲の子散らすように帰るわけではなくて、実は地図を持って来ています。例えば、子どもがここをよく通るんだけどちょっと溝が危ないような気がするので安全対策をしてほしいとか、ここが暗いので街灯をつけてほしいとか、そういう地域の安全・安心にかかわることがありましたら、1人だけじゃなくて皆さんに言っていただいても対応できるように職員を連れて来ていますので、危険だなと思われるところがありましたら、11時30分に終わっても残っておりますので指し示していただいたらと思います。松山市にとって大事なことはいろいろあるんですけども、市民の皆さんの安全・安心は特に大事にしたいところです。平成24年の春だったと記憶しています。京都の亀岡で一晩中運転をしていた若者の車が通学をしていた子どもたちの列に突っ込んで10人が死傷した事故がありました。それを受けて松山ではそういうことのないように通学路で危ないところがないのか緊急点検をしようという指示を出しました。結局夏休みになったのですが、通学路で子どもたちが通るところはもちろん国道も

あります。ですから国の人も出てきてください。県道もありますから県の人も出てきてください。松山市道もありますから、もちろん市役所も参ります。PTA、先生、そして地域の方々にも出てきていただいて、夏休みに松山市の小学校の通学路の緊急点検を一斉にさせていただきました。全ての小学校地域でやりまして、これはやはり皆さんにオープンにすることが大事だと、松山市のホームページで全部出しています。河野小学校も5カ所緊急に点検すべきところが出てきまして、例えば「脱輪した車と児童の接触の恐れがあります。目安となるポールを設置しました。」「歩道のない狭い道路で車が児童のすぐ側を通ります。路肩の広さを検討して白線を塗り直しました。」「歩道のない狭い道路で道路脇の水路に児童が落ちることがあります。ガードパイプを設置して、路肩の白線塗り直しました。」「交通量が多く歩道もなく狭い道路で、車が児童のすぐ側を通ります。一部区間は拡幅計画がありますが、それ以外の区間には路肩に白線を引きました。歩道の設置を計画します。」「横断歩道と『止まれ』標示が消えています。横断歩道は引き直しをしました。『止まれ』は書き直しを計画しています。」と出ています。このように対策をとらせていただきましたけれども、例えばどうしても近隣の方のご理解をいただけなくて土地を買うことができなくて広げることができないとか、根本的な解決にいたっていないところもあるのですけれども、こういう危険箇所を減らしていく、また新たなところが見つかったら対処していくことを繰り返していきたいと思っております。

【男性】 夏目区長です。最近、豪雨災害で広島の土砂災害の問題、ということから土砂災害防止法とかその中にあります土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域という言葉をよく聞くわけですが、夏目地区は県から災害区域、特別警戒区域に該当するところがありますよ、一次的な調査が終わりましたということで、たぶん指定されるんだと思いますが、そういう話を聞いております。それで地図を見せていただきますと、避難場所がその警戒区域の中にある北条南中学校でございますので、法律上のことはわかりませんが、警戒区域を指定されるのは県になると思うんです。避難指示とか避難勧告を出されるのは市の特別災害対策本部になるんだと思うんです。そういう避難勧告や避難指示等が出た場合に、避難場所として北条南中学校を開設していただくと、それは特別警戒区域の中にあるということで疑問を感じたものでお伺いをしたいと思っております。よろしく願います。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。ご質問ありがとうございます。土砂災害警戒区域ですけれども、愛媛県が指定することに

なっております。夏目地区では土砂災害警戒区域が4カ所、うち土砂災害特別警戒区域が1カ所指定される予定となっております。この作業は住民の皆さまに十分な説明をした後に、早くても今年末、遅くても今年度末には指定されるものと愛媛県から聞いております。先ほどご質問の中に北条南中学校が土砂災害警戒区域に含まれるということでございますけれども、松山市は避難勧告や避難指示等を出す場合に、避難勧告等の判断伝達マニュアルを定めております。これに基づいて避難勧告の時期、もしくは避難勧告の範囲を指定するわけでございますけれども、その避難勧告を判断する条件といたしまして、時間雨量や積算雨量などの雨量の条件、それと地元夏目地区からの現地情報、例えば湧水が濁っているとか、何か異様な音がするとかそういう前兆現象をとらえた現地からの情報、それと土砂災害警戒情報を松山地方气象台と愛媛県が合同で発表いたします。この土砂災害警戒情報の危険度などによりまして、総合的に避難勧告等の判断をいたします。その際に土砂災害警戒情報は濃い紫から白までの5段階のレベルで表現されますけれども、そのレベルが土砂災害警戒基準を超えている場合は、北条南中学校は避難所としては基本的に開設いたしません。その場合、河野地区では河野小学校とか河野公民館を避難所として開設して、そちらの避難所を開設した旨を防災行政無線、テレビ、ラジオ、広報メール、それと消防車の広報などで住民の皆さまに速やかにお伝えする体制をとっておりますので、そのような土砂災害の警戒情報によりまして、避難所の判断をさせていただくということをご理解いただけたらと思います。

【市長】 私から補足を。もう何が何でも北条南中というわけではない。その状況に応じて避難場所を設定して、皆さんにお伝えして、ここに避難してくださいというかたちでやっております。私からお願いをいたします。松山防災マップを平成23年の3月に配っております。平成23年の3月に何が合ったかという東日本大震災が起こりました。この防災マップを配った後に東日本大震災が起こったのですが、だからといってこの防災マップが全く使いものにならないというわけではありません。安心してご利用いただけたらと思うのですが、今年度中にまた新しい松山防災マップを出します。また全戸配布しますので皆さんには活用していただきたいのですが、河野地区は46ページ、47ページに出ていますので、どこが避難所になっているのかもわかります。そして、浸水が予想される地域は蛍光色をつけていますが、実はこの色にも魂を入れておりまして、この松山防災マップは愛媛大学に防災研究センターがありまして、矢田部先生という全国の中でも権威の先生がいらっしゃるんですね。その先生方にもアドバイスいただいて、実は昔はもっと派手な蛍光色をつけていたのですが、目

の不自由な方からすると、派手な蛍光色のほうが逆に見えにくいそうです。そういう色まで配慮してつくった防災マップでありますので、ぜひとも皆さんにご活用いただけたらと思います。そして1ページです。松山市民に聞きました、何らかの災害に遭遇すると思っている人は75パーセント、8割いるんです。でも、地震に備えて家具固定をしている人は反対の2割しかいないんです。8割と2割の差。我々はこの差をどう埋めていこうかと苦心をしているところです。私、去年の8月に防災士の資格をとらせてもらいました。知識と意識を高めて、松山市の防災に生かしていくというのでとらせていただいたのですが、皆さんはタンスを持てますか？結構重いと思うんですね。震度7くらいの揺れだとタンスは家具固定しないと飛んじゃうんですよ。例えば寝ているときに家具が倒れてきて、当たりどころが悪かったら命にかかわる問題です。だから家具の固定はしてくださいとお願いしているのと、体に当たらなくてもタンスが倒れてくる、家具が倒れると逃げ道がなくなります。逃げるのに大変困りますから、ぜひとも皆さんには家具固定をしていただきますように。そして備蓄物資。大きな災害が起こると松山市で備蓄している物資を皆さんに配りますけれども、公平性の観点からどうしても並んでいただかなくてはいけなくなります。今、国は皆さんそれぞれが7日分の備蓄をしてくださいと言っています。期間が長くなりましたけれど、それをしていただいたら、1つ目、並ばなくても手に入ります。2つ目、好きなものが手元にあります。並んで配られても「私、これあんまり好きじゃないのよ。」じゃなくて自分のところで7日分持っておいてもらったら並ばなくても手に入る、そして自分の好みのものが手に入るわけですから、松山市としても備蓄をしっかりとやっていきますが、それぞれ皆さんでの備蓄もよろしくお願いします。

【男性】 河野地区社会福祉協議会の事務局長をしています。昨日、グラウンドゴルフをサロンの方に集まっていたいただいて100何人ほど集まってやったのですが、利用したグラウンドは北条の文化の森のグラウンドですが、その駐車場からグラウンドに上がる階段があるんですけれども、この階段のピッチが高いんです。そしてさらに1番下と次のところの高さが違うんですよ。そうすると高さが違うために足を踏み外すことになる危険ですので、ご検討願ったらと思います。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。文化の森の施設のことですよね。地図でここが不自由だとか対処してほしいとかを教えていただけますか。その後で担当課につながりたいと思います。そして改善できる点は改善していきたいと思っております。よろしく願います。

【市長】 私も息子が小学校3年生から野球をやっておりますので、文化の森のグラウンドもよく使わせてもらいました。やっぱり高齢化してくると階段もご苦労なさると思います。今思いますのは、昔は障がいのある方や高齢の方へ向けた設計がされていたかというところ、そこまで細かくはしてなかったんじゃないかなと個人的に感じております。この前に障がいのある方とのタウンミーティングをさせていただいて、車いすの方が言われたのが、「市長さん、私は体が不自由ですけど、トイレの鍵の高さをもうちょっと低くしてもらっていたら、自分で鍵が閉められてトイレに入れるんですけども、鍵の高さが高いからヘルパーさんを呼ばないといけないんです。ちょっとの間だから鍵をしなくてヘルパーさん呼ばずにしようかなと思うときもあるくらいですけど、昔から鍵を低い所にしてくれていたらよかったですけどね。」みたいなお声をいただいて、やっぱりもっと皆さんのお声を聞いた設計をしなければならぬなと痛感したところがございます。早速見させていただいて、今日11時30分に終わった段階でこの場所ですと言わせていただいてチェックをさせていただいたらと思います。特に高齢の方々が、さっき小学生さんの質問で答えたように、家で閉じこもりになるよりか、絶対皆さんで会って会話していただいたほうがいいので、まさに大事なことだと思いますので、ありがとうございます。気づかないところを教えてくださいました。

【小学生】 高縄山に車とかで行くと道路のところに枝がはみ出していたりするので、けがをしたらいけないので、そこを何とかしてほしいです。

【都市政策課長】 都市政策課です。基本的には難しい問題がありまして、枝が個人の方の土地から出ている枝は、個人の方の了解を得まして切らせていただくということがありまして、勝手に切ることができないので場所を教えてくださいましたら調査をさせていただいて、検討させていただきますので、よろしく願いいたします。

【市長】 基本的に通行に妨げになるものは、極力切らせていただきます。個人さんのところであってもご協力いただいて切らせていただきます。後で場所がわかればなと思っています。松山市の湯の山ってわかるかな？湯の山ニュータウンは山の上に新しいお家がいっぱい建っているところで、エレベーターでその山の上の団地に上がっていくところですけど、小学生さんとか中学生さんとかいっぱい住んでいて、県の道を通って学校に行くんですけど、道に雑草が伸びていて自転車の人は当たりたくないから車道にはみ出して自転車で行くんです。車と接触して危ないんじゃないかというお声をいただいたので、湯山のタウンミーティングでこれを改良するようにさせていただきました。わかりやすくいうと、国道、国の道路は知

っているよね。県道って県の道路は知っているよね。「しどう」は市の道路と私の道路も私道と言うんです。また、農道もあったりして、そんなのわからないでしょ。国か県か市は関係なので言ってください。皆さんにもですが、県のことだったら我々が責任をもって県に言います。今、県と松山市はしっかり連携がとれるので、このタウンミーティングで出てきた県道のことでもどんどん言っているんです。どんどん直してもらっているので、県のことでも直してもらえますから、国にもきちっと伝えます。今、全体的にどこの自治体も財政が厳しくて、草刈りの費用があんまりないそうです。でも、やっぱり松山市も見たい目のこともあるので、できるだけ雑草は伸びる時期を見ながらちゃんと切っていくようにしたいと思います。また、場所がわかればすぐに対応しますので、後で教えてください。

【小学生】 歩道橋や通学路の壁、通学路でないところにも落書きが多いんですけど、落書きがあるとそこに怖い人がいるのかなとか思ったりして、ちょっと怖いところがあって、夜とかにもバイクの音がしたり怖いところがあるので、ちょっと相談したいなと思って言いました。

【市長】 松山市内では落書き消しの運動をしているんですよ。松山は土曜夜市が商店街であるでしょ。その商店街に15年前ぐらいは、暴走族の人が来たり、その暴走族を待っている期待族という人がいたりして、1番ひどいときはパトカーがひっくり返されたりとか治安がだいぶ悪くなったときがあるんです。まちの人たちが立ち上がって、土曜夜市9時ぐらいになったら、もうそろそろ帰りましようねという声かけ活動をやったりとか、落書きを消していきましようという活動が始まりました。今、落書きも土曜夜市も安全で安心な土曜夜市になっています。「ブローケンウィンドウ理論」といって、アメリカのニューヨークのお話ですけど、「ブローケン」壊れた、「ウィンドウ」窓、1つの壊れた窓をそのままにしていると、「ここのまちはチェックする人がいないんだ。見守る人がいないんだ。窓を割ってもかまわない。」となるので、また2つ目の窓が割られる。どんどん広がっていくという「ブローケンウィンドウ理論」というのがあります。小さなことから対処することが、すごく防犯では大事ですね。落書き消しはどうしているかという、なかなか消えないので新しいペンキをその色に合わせて塗装の協会の方々が手伝ってくれて、地元の人たちと一緒に落書き消しをやっています。中心部だけじゃなくて、郊外でもできないか塗装業協会の方と話をしてみたいと思います。壁の色と色を合わせるのが難しんです。なので、どういうことができるか。また、よろしかったら地元の方々に防犯活動の一環として、大人の方と消していただけることができると河野地区全体の安全安心につながっていくのかな。それに

は地区の方々にお手数をかけますけれども、お子さんからの声でありますので、そういうことができないかなと感じた次第です。

【小学生】 年に何回か地域で大掃除があるんですけど、子どもも参加できればきれいにもなると思うし、高齢者とかとの関係も深まると思います。

【市長】 いい提案ですね。大変いいご意見をいただきました。これなんですよ。子どもの発想は大人が考えつかない発想が出てきます。早速検討させてもらいます。先ほど高齢の方のことで話をさせていただいたように、とにかくつながりなんです。個人とか孤独とかそっちの「こ」が目立つ世の中になってしまったんですけど、私はあんまり横文字を使うの好きじゃないですけど、コミュニティとかコミュニケーションとかコラボレーションとか、そういう「コ」に戻していきたいですね。つながりがあったら防犯もよくなるし、介護のこともよくなるし、子育てのこともよくなるんですね。そういう清掃活動に子どもさんも出てくれたら、おじいちゃん、おばあちゃんとのつながり、会ったことがないおじいちゃん、おばあちゃんとも話すきっかけにもなると思うし、とってもいいご提案だと思います。早速、市役所に持ち帰って、色んな松山市内の清掃でお子さんが出ていただくことができないかどうか、考えさせてもらったらと思います。

【女性】 災害の話とか出ていたんですけど、避難所になっている河野小学校の体育館に洋式トイレの申請をさせてもらって、今、工事に入っているんですけど、ここの河野公民館も避難所になっていると思うのですが、洋式トイレがないんですね。やはりお年寄りとかたくさんの方が集まる施設なので、トイレの改修をお願いできたらと思います。

【市民部長】 市民部長の片山でございます。ご質問ありがとうございます。地域の方々にとって交流を行う場として、身近な公共施設だと思っております。また、高齢者の利用も多く、現在耐震化工事などもあわせてバリアフリー化を公民館でも実施しております。ここの河野公民館の男子トイレだけ見たんですけど、和式でございました。そして、その横には多目的用のトイレがあったと思います。「どなたでも利用してください」と書いてあったと思います。そちらは洋式があったと思います。男女問わず洋式をご希望の方は、そちらを今時点では使っていただければいいかなと思っております。そして、公民館の施設についても営繕工事を順次やっておりますが、基本的には壊れたところから直していくのが原則でございます。そういう地元からの要望もありますので、洋式化なども含めて老朽化対策を実施していきたいと思っておりますので、公民館長さんにお話をさせていただいて、そこから教育委員会にあげていただければと思っております。

【市長】 今、前向きに検討しているのが、小学校・中学校の教室へのエ

エアコンの設置を松山市では考えております。小学校や中学校は、大きな災害が起こった際の避難所にもなる場所です。皆さんご家庭にはエアコンがあつて快適に暮らしていらっしゃると思いますよ。大きな災害が起こった際に小学校や中学校に避難をして来られます。真夏に避難してくるときもある。真冬に避難してくるときもある。避難所としての意味も小学校や中学校にはあります。今回で延べ82地区目のタウンミーティングになるのですが、小学校や中学校の児童さん生徒さん、またお父さんやお母さんから「市長、今の子どもたちは真夏、教育環境が厳しいです。」と教えてもらいました。我々が子どものころは、日中の予想最高気温が30度くらいだったのですが、今は35度や36度ぐらまで上がるときがありますね。我々のときに比べると違ってきております。そのために夏休みがあるのだらうという話だったのですけれど、それにしてもかなり暑くなってきている。学習環境のことも考えて、普通教室などへエアコンの設置に向けての検討を前向きに進めることにしています。これは、学習環境だけでなく、年配の方が避難してくる場所でもありますのでエアコンの設置を、そして、学校の洋式トイレの設置も前向きに検討することにしております。これも子どもたちが今、和式に慣れていない子がいるので「足が強くなっていいんだ」というご意見もあるんですけども、高齢の方は洋式トイレのほうがしやすいというところがあります。防災士の資格をとらせてもらったことを言ったのですが、高齢の方は避難生活になると共同ですからトイレに行きにくいということで、水分を控えめにしてしまう例が報告されています。そうすると体調を崩しやすいので、そういうことのないように高齢の方も考えて、避難場所のことも考えて洋式トイレの設置も前向きに検討していくことになっておりますので、そのような現状です。

【中学生】 北条南中学校の北側の道になるんですけど、善応寺や常保免や佐古に上がっていく道にちょっと草が出たりしていて危ないかなと思うんですけど、それともう少し上がった大きい道から小さい道になるところにガードレールができたんですけど、街灯がなくて中学生は部活動生が夜遅くに帰ることが多いので、ちょっと危ないかなと思うのでお願いします。

【市長】 これはもう早速見せていただきましょう。場所をまた後で教えてください。

【小学生】 登校中のときですけど、蛇を2回見つけました。みんなが噛まれると困るので、草が長いところは刈ってほしいんです。

【市長】 交通事故のことだけでなく蛇のことも心配ですよ。気持ちわかります。普通のアオダイショウだったらいいんですけど、もしマムシだ

ったらと考えると危ないですね。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。また場所を教えていただいたら蛇がでないように草を刈らしていただきますので、よろしくをお願いします。

【男性】 市長さん、非常にきめ細やかな行政、今日タウンミーティングに参加してよくわかりました。やはり中央官僚の国の使い勝手のいい自治体でなく、地方自治の本旨に基づいたきめ細やかな行政をやっていただくように今後とも期待申し上げます。私が要望したいのは水問題です。ほかの地域でもたくさん出たと思いますが、西条からの分水をどうお考えかわかりませんが、西条の分水をぜひあきらめていただきたいと思いますのが私の考えです。5年前に今の中村知事にも言ったんですけど、私は西条に2年間住んでいまして、西条へ行く前は北条市に住んでいました。そこには立派な水があり井戸も出ます。高縄山水によって水に恵まれているので西条市民が水と言っている、何のこっちゃと申しているんですけど、2年間住んでみますと、西条市民の水に対する意識は私どもと全く違います。だから西条市民は絶対に水を譲ってくれません。これは私が2年間住んでわかりました。黒瀬ダムの分水だと思ってしまうんですけど、そこから水を引くといったら200億から300億かかると聞いています。その水の供給が私どもの毎日の生活にすごく高い値で振り返ってきます。そういう意味ではもう分水はあきらめて、例えば面河ダムの分水というかたちで考えられると思うんですけども、松山市自体の水の需要も減っていますので、決して西条から水を誘引することのないように市長にこの場でお願いしたいと思います。以上でございます。

【市長】 面河からの分水は実際できないことになっています。水利権という水を利用する権利がありまして、これは愛媛県と高知県との交渉の中で高知県から水利権を返してくださいと言われております。平成6年のときの大渇水の際に利用できなかったじゃないかというお話があるのですが、石手川ダムの水を底の底まで使ってしまった、本当にならぬ状態で、人道的に緊急的な特別なこととしてあのときは認められました。工業用水だったと記憶していますが、工場の方がご利用を控えていただいて、なんとかその分を回せたというものですので、恒常的な水源にはならないと感じております。いろいろ経緯もありますのでご紹介させていただくと、松山市の主な水源は2つしかありません。人口37万人の設定でつくった15万人分不足している石手川ダムと、少雨が続きと著しく水位が低下する重信川の地下水の2つしかありません。地下水はダムのように上から見て貯水率何パーセントと見ることができませんから、地下水に頼るのは恐ろしい。森

松の団地でも地下水が枯渇して給水を制限することがありました。地下水に頼るのも大変怖いことでもあります。北条地区も水源は立岩川沿線の地下水のみで、光洋台へは重信川の地下水を送っている状況に変わりはないんです。仮にこれらの水源に何らかの障害が発生すれば、市民生活だけじゃなくて医療や教育の現場など都市の機能が著しく低下する恐れがあります。松山市では市民の皆さん、そして企業の方々、市が一体となって渇水に強い都市づくりを目指す「節水型都市づくり条例」をつくりまして、国がつくると法律、県や市がつくると条例ですけれども、最も安くて即効性のある節水を徹底するとともに、水資源の有効利用や保全策などあらゆる対策を講じた上で、それでもなお足らない部分について、新しい水源で賄うことを基本スタンスに節水型の都市づくりを進めてきました。水問題の解決はどのような対策を行うにも必ず費用は伴います。分水による水道料金への影響を10パーセントから15パーセントのアップと試算をしております。このアップについては、市議会と一緒に十分な検討を行って、費用の最もかからない方法として選んだものです。人口については第6次松山市総合計画という10年に1度の計画がありますが、今後減少する傾向を予測しております。このため、48,000立方メートルの必要な水の量については、将来の都市の発展を考慮した上で適宜、検証したいと考えています。近年の渇水の状況を考えると大規模な水源が必要だと考えています。水の配分は歴史的にも水を出す側といただく側、それぞれの地域の皆さんの思いもあって、色んなご意見があるのは承知しております。松山市の都合だけで進めることはできません。今は愛媛県・西条市・新居浜市・松山市の4者で構成された「水問題に関する協議会」という場ができています。こういった協議を通じて西条市の水を守ることを第一に、粘り強く松山市の立場や状況を説明して、地元西条市などの関係者のご理解を得られるように努力してまいりたいと思っております。協議の状況は松山市のホームページや広報誌などでお知らせをいたしますので、ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。いろいろと経緯のある中で総合的に考えて今この方策をとらせていただいております。市長という立場があつて、もう1つの代表である市議会からこの西条分水決議がされました。市長が西条分水をお願いしに行きなさいという決議をいただいて、その決議のもとに今交渉させていただいておりますので、ご理解をいただけたらと思います。今日は長時間お付き合いをいただきましてありがとうございます。小学生・中学生の皆さんにはちょっと大人の話ですから、ときには難しいところもあったんじゃないかなと思いますけれど、本当にいい参加をしていただきました。市長という立場をお預かりさせていただいて4年

になっていますけれども、皆さんも聞かれると思いますが、国自体が1千兆円の借金を抱えている。中学校の勉強で出てくるとは思いますが、これは国から地方に地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで、地方にお金がまわってくるんですけれども、仕送りと似たところがありまして、親元が苦しかったら地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくい。愛媛県にしても松山市にしてもどこの市・町にしても限られた財布の中でやっていかななくてはいけない。我々が皆さんに負担を求めることは、まずしたくないです。でも、総合的に検討させていただいて、水のことでも19の方策を考えたのですが、1番安定的にもコスト的にも優れるのが西条からの分水、2番目が海水の淡水化というこの2つの方策で考えておりまして、今、西条に分水をお願いしているところです。とにかく皆さま方に負担を求めることはできるだけしたくないと思いますし、これからも市民の皆さんの声を聞き続けるこのタウンミーティングをやってきたように、やはり皆さんの声を聞き続けるのが大事なことだと思いますので、それを重ねていきたいと思っています。最後に、市役所は市民の皆さんの役に立つ所で市役所でなければいけないと思っています。市役所に言っても何にも変わらないでなく、前回のタウンミーティングでも申し上げたように、いろいろ変わってきていることがあります。どうぞ敷居を高くされずに、相談していただいたら「こういうやり方はできませんが、ああいうやり方ならできるんですよ。」という情報もお伝えすることができるので、これからも敷居を高くせず、市役所とお付き合いをいただければと思います。長時間になりましたけれども、これで今日のタウンミーティング終了とさせていただきます。まことにありがとうございました。

— 了 —